

草津市都市交通マスタープラン（案） 及び総合交通戦略（案）

【新駅設置の概略検討（案）】



平成25年 10月

1.2 地元調整等の経過

地元調整等での主な意見

日にち	調整先	主な意見
8月21日 (水)	プリムタウン区画 整理事業準備組合 事務所	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路の平野南笠線の築造と同時に駅前広場を整備して、そこに駅を建設した方が良い。 ○市の態度を早くはっきりさせるべきである。 ○組合としては、土地区画整理事業区域内の新駅の建設は反対であるが、区域外なら賛成とする。
9月04日 (水)	玉川学区 まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○新駅は南草津駅と近過ぎるため、近隣の人しか利用しないと思う。 ○山手方向の道路が少ない中で新駅ができると、今以上に国道1号の渋滞が起こると予想される。 ○新駅をどうしても設置したいのならば、南草津駅寄りではなく、中間地点もしくは瀬田駅寄りに設置すべきである。 ○新駅は20~30年先には必要になるかもしれないが、ここ数年は国道1号の渋滞を増長するだけで、必要ない考える。
9月05日 (木)	第4回草津市総合 交通戦略協議会※ での意見	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな渋滞が発生する等、新駅設置はデメリットの方が大きい。 ○人口増加等、老上学区のことを思えば、新駅設置は積極的に取り組んでやってもらいたい。 ○メリット・デメリットが限定しすぎているため、色々な観点から判断してほしい。
9月09日 (月)	南笠東学区 まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○JRからもちかけてきたため、JRが負担すべきである。 ○平野南笠線の付近にできるなら効果はあるかなと思う。 ○JRと市の負担割合を考え直して、場所もよく検討する必要がある。 ○新駅をやるならば、狼川の改修を併せて考えてもらいたい。
9月11日 (水)	老上学区 まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○土地区画整理事業が動いている中で、この駅によって大きくまちも変わるため、はっきりと市の姿勢を示してほしい。 ○新駅の設置とともに、プリムタウンの中に湖南幹線まで抜ける都市計画道路の整備を検討してほしい。 ○新駅ができることで、国道1号の渋滞は解消せず、利用者も限定されるため、メリットはないと考える。 ○市が判断し、姿勢を示してから議論すべきである。

※草津市総合交通戦略協議会は、交通施策の基本となる総合交通戦略の策定に関し、必要な事項についての調査審議に関する事務を行う。

2. 新駅設置に伴う影響

新駅を設置した場合、上位計画（総合計画や都市計画マスタープランなど）に基づいた人口フレームを維持するものとし、住宅および店舗は低層とすると想定して、新駅設置に伴う影響を分析する。

新駅設置の主なメリット・デメリット

観点	メリット（効果）	デメリット（問題点）
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○新駅周辺への商業等の集積により、税収の増加や新規雇用の創出が見込まれる ○交流人口が増加する ○JRと交差する部分において狼川の改修が実現できる可能性がある ※ただし、県の方針が未定である 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市施設（道路、駅前広場、駐輪場等）の整備が必要となり、更に多額の事業費が必要となる ○草津駅や南草津駅周辺の拠点性が弱まる ○進行中の土地区画整理事業が遅れる
交通	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の新たな玄関口が創出される ○鉄道を利用しやすい地域が拡大する 	<ul style="list-style-type: none"> ○新駅の利用者が限定的であるが、多額の事業費が必要となる ※駅勢圏が南草津駅と重複している ※新快速の停車が見込めない ○新駅設置により、鉄道移動時間が増加する ○国道 1 号などにおいて、新たな渋滞が発生する ○生活道路への交通の流入が発生する ○バス路線が分散化されることにより、バス事業者の経費が増加する

新駅を設置する場合には、以下の点に留意しなければならない

- 現在の上位計画（総合計画や都市計画マスタープラン）に位置づけられている、学校やごみ処理施設等の全体の施設計画に大きな影響を及ぼす。
- 土地区画整理事業が既に進行中であり、計画変更に伴う地権者の承諾を得ることが困難な状況である。
- 駅東口～国道 1 号へのアクセス道路を整備するためには、既存工場の移転が必要となる。

3. まとめ

まちづくりの観点および交通の観点からすると、新駅設置は、周辺地域に対してメリット（効果）もあるが、デメリット（問題点）も多く、また、新駅周辺の地元の理解も得られにくいことに加え、駅の新設および周辺地域の整備に多額の事業費が必要となる。

新駅を設置する場合に、総合計画から再検討を行う必要があることも踏まえ、新駅の検討を一旦凍結し、今後、都市計画道路の整備など周辺状況の動向を十分に踏まえた上で、必要に応じて再検討を行うべきと考えられる。